

Ⅲ

諸資格の取得

1	教育職員免許状	80
2	博物館学芸員	107
3	日本語教員	108
4	専門社会調査士	109
5	臨床心理士	110
6	公認心理師	111
7	資格取得を目的とした科目履修	112

Ⅲ

諸資格の取得

1 教育職員免許状

本学で教育職員免許状を取得するには、修了に必要な単位を修得するほか、教育職員免許関係法令（「教育職員免許法」、「同法施行規則」、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」）が定めるそれぞれの免許状取得に必要な科目の単位を併せて修得する必要があります。

なお、一種免許状を取得していない者（取得要件を満たしていない者）が新たに教員免許状取得を希望する場合は、学部開設科目を履修し、一種免許状の取得要件を満たす必要があります。この場合、学部入学年度及び卒業後の経歴によって、必要単位及び取得要件が異なります。また、大学院生は、学部開設科目を履修できませんので、別途、科目等履修生の入学手続が必要となります。

については、単位修得方法や履修手続等の詳細について、入学後、直ちに学務課教務担当にお問い合わせください。

I. 専攻別取得可能な免許状の種類及び教科

（専修免許状）

既に一種免許状を取得している者（一種免許状の取得要件を満たしている者を含む）が、大学院博士前期課程で取得できる免許状です。

	専攻	免許状の種類及び教科			
		中学校専修	高等学校専修	その他の免許状の種類	
人間文化創成科学研究科博士前期課程	比較社会文化学専攻	国語	国語		
		中国語	中国語		
		英語	英語		
		社会	地理歴史		
		保健体育	保健体育		
		音楽	音楽		
		家庭	家庭		
	人間発達科学専攻	教育職員免許法第4条第5項第1号に掲げる全ての教科（外国語は英語、中国語に限る）	教育職員免許法第4条第5項第2号に掲げる全ての教科（外国語は英語、中国語に限る）	幼稚園専修	小学校専修
	ジェンダー社会科学専攻	社会	地理歴史		
		家庭	公民		
ライフサイエンス専攻	家庭	家庭			
	理科	理科			
理学専攻	理科	理科			
	数学	数学			
		情報			
生活工学共同専攻	家庭	家庭			

Ⅱ. 大学院学生が学士課程で開設された教職科目を履修する際の注意事項

現行教育職員免許法では、「学士課程において一種免許状を取得した者が、大学院博士前期課程において教職または教科に関する知識をさらに深化させることにより専修免許状を取得する」ことを想定した免許構造となっています。

この法令上の原則に基づき、大学院学生の科目等履修生資格による学士課程で開設される教職課程の履修にあたっては、以下を指導の原則とします。

1. 大学院での学修の目的は研究にあります。本学で大学院に在籍しながら、教員免許状取得のために学士課程で開設されている教職科目を履修することが認められているのは、大学院学生のキャリア支援に資するための特別な措置であることに留意してください。
2. 研究を本旨とする大学院段階の学修を妨げないために、大学院学生が学士課程で開設される教職科目を履修するケースとして主に想定されているのは、①学士課程段階で単位を取得し残した教職科目を補充する場合と、②すでに何らかの校種の教員免許状を有する大学院学生が、別の校種や教科の教員免許状の取得を希望する場合です。
3. 大学院段階から新規に教員免許状の取得を希望する大学院学生については、学士課程段階の教職科目の履修が大学院での研究活動を圧迫することがないように、教職課程専門部会と教育実習専門部会が履修状況を把握して指導を行うことがあります。指導教員と話し合い、大学院での研究を妨げることがないように、あらかじめしっかりと履修計画を立ててください。
4. 大学院段階での学士課程の教職科目の履修に際しては、学士課程に在籍する教職科目履修者と同様の科目履修順序ならびに履修手続きに従ってもらいます。

教職課程専門部会

Ⅲ. 免許状取得に必要な単位

教育職員免許状の種類	基礎資格	教育職員免許法に定められた単位数						合計単位数	介護等体験
		教科及び教科の指導法に関する科目 (幼稚園教諭領域及び保育内容の指導法に関する科目)	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目			
幼稚園教諭	専修	修士の学位を有すること。	16	10	4	7	38	75	不要
	一種	学士の学位を有すること。	16	10	4	7	14	51	不要
小学校教諭	専修	修士の学位を有すること。	30	10	10	7	26	83	*
	一種	学士の学位を有すること。	30	10	10	7	2	59	必要
中学校教諭	専修	修士の学位を有すること。	28	10	10	7	28	83	*
	一種	学士の学位を有すること。	28	10	10	7	4	59	必要
高等学校教諭	専修	修士の学位を有すること。	24	10	8	5	36	83	不要
	一種	学士の学位を有すること。	24	10	8	5	12	59	不要

既に一種免許状を取得している者（一種免許状の取得要件を満たしている者を含む）が、同校種・同教科の専修免許状を取得するためには、P.80以降の認定授業科目を24単位以上修得する必要があります。

- 注) ① 介護等体験の「*」は、既に小学校又は中学校の免許状を取得している者（取得要件を満たしている者を含む。）は不要です。
- ② 「修士の学位を有すること」には、大学の専攻科又は文部科学大臣の指定するこれに相当する課程に一年以上在学し、30単位以上修得した場合を含むものとします。
- ③ この表に規定する最低単位数の他に日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位及び情報機器の操作2単位を修得することを必要とします。
- ④ 単位互換制度により、他大学大学院の授業科目を履修して修得した単位は、本学において専修免許状を取得する場合の単位に使用することはできません。

IV. 教員免許状の授与

教員免許状は、取得要件を満たした者が居住する都道府県の教育委員会等に申請することで、授与されます。

但し、本学の所在する東京都では免許状を申請する学生が特段に多いので、所属する大学で申請希望者をまとめて教育委員会に申請する大学一括申請を行っています。教員免許状の取得を希望する学生は単位の取得漏れがないようによく確認し、手続をしてください。

なお、教員免許状は再発行されないので、授与された免許状は厳重に保管してください。

i. 大学一括申請

まず2年次の7月頃に一括申請の申込手続を行います。この時に、本籍地が所在する役所の住民課等で発行する身分証明書（学生証や運転免許証とは異なります。）が必要になりますので、準備をしてください。

次に、12月頃に、免許状申請手続を行います。この時に、宣誓書に署名・押印するために印鑑（シャチハタ等の簡易印は不可）及び申請手数料（¥3,300～¥9,900程度）が必要です。

以上2回の手続を漏れなく行くと、学位記授与式当日に教員免許状をお渡しします。

なお、手続方法や申請手数料等は、東京都教育委員会の規則変更等で改正になることがあります。その場合、掲示等で連絡しますので、ご注意ください。

ii. 個人申請

2年次に一括申請手続を取らなかった者は、修了後に個人で教育委員会等に申請することになります。修了時に必要単位を漏れなく修得していれば、修了後いつでも申請できます。ただし、申請から授与までは1ヵ月以上かかることが多く、特に年度末は申請が集中するため4月からの採用に支障が生じることがあります。特に教員採用が決定している場合等は、在学中に一括申請で免許状を取得してください。

なお、個人申請の場合は、主に居住する都道府県の教育委員会等に申請することになりますが、都道府県ごとに手続が異なります。各自で担当部局に確認してください。

V. 専修免許状取得のための認定授業科目及び単位

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	国語
--------	-----------------	------	----

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
国 語 （ 計 24 単 位 以 上 ）	教科及び教科の指導法に関する科目	日本語史特論	2
		日本語史演習	2
		日本語資料論特論	2
		日本語資料論演習	2
		現代日本語学特論	2
		現代日本語学演習	2
		日本言語表現論特論	2
		日本言語表現論演習	2
		日本言語文化特論	2
		日本中古文学特論	2
		日本中古文学演習	2
		日本中古文学表現史論	2
		日本中古文学表現史論演習	2
		日本中世文学特論	2
		日本中世文学演習	2
		日本中世文学表現史論	2
		日本中世文学表現史論演習	2
		日本近世文学特論	2
		日本近世文学演習	2
		日本近世出版文化特論	2
		日本近世出版文化演習	2
		日本近代文学特論	2
		日本近代文学演習	2
		日本近代メディア研究特論	2
日本近代メディア研究演習	2		
日本現代文学特論	2		
日本現代文学演習	2		
日本近現代詩歌論特論	2		
日本近現代文学構造分析論演習	2		
特別研究	8		

諸資格の取得

Ⅲ

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	中国語
--------	-----------------	------	-----

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
中国語 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	中国古典語学特論	2
		中国古典語学演習	2
		中国言語文化特論	2
		中国言語表現論演習	2
		現代中国語学演習	2
		東アジア比較言語文化論(近現代)	2
		東アジア比較言語文化論演習(近現代)	2
		中国語教育実践方法論(基礎)	2
		中国語教育実践方法論(応用)	2
		現代中国語圏文学特論	2
		近代中国語圏文学特論	2
		現代中国語圏文学演習	2
		近代中国語圏文学演習	2
		東アジア比較言語文化論(古典)	2
		東アジア比較言語文化論演習(古典)	2
		中国古典文学思想論	2
		中国古典文献学	2
		アジア民俗文化論	2
		アジア言語芸術論	2
		特別研究	8

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	英語
--------	-----------------	------	----

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
英 語 （ 計 24 単 位 以 上 ）	教科及び教科の指導法に関する科目	英語学特論（文法論）	2
		英語学演習（形態論）	2
		英語学特論（統語論）	2
		英語学演習（統語論）	2
		英語学特論（語用論）	2
		英語学演習（語用論）	2
		英語学特論（意味論）	2
		英語学演習（意味論）	2
		英語学特論（第一言語習得）	2
		英語学演習（第一言語習得）	2
		英語教育方法論研究	2
		英語教育方法論演習	2
		英文学特論（批評研究）	2
		英文学演習（作家研究）	2
		米文学特論（批評研究）	2
		米文学演習（作家研究）	2
		米文学特論（表象研究）	2
		米文学演習（作品研究）	2
		英語圏テキスト文化論	2
		英語圏テキスト文化論演習	2
		英語圏文学・文化特論	2
		英語圏文学・文化演習	2
		第二言語習得論研究	2
		第二言語習得論演習	2
		英語圏言語文化特論	2
		英語圏言語文化演習	2
		英文学特論（ジャンル研究）	2
		英文学演習（歴史表象研究）	2
		英語圏文学表象論	2
		英語圏文学表象論演習	2
対照言語分析特論	2		
対照言語分析演習	2		
特別研究	8		

諸資格の取得

Ⅲ

免許状の種類	中学校教諭専修免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

比較社会文化学専攻

免許教科	科目区分 大学が独自に設定する科目	本学認定授業科目及び単位	
社 会 （ 計 24 単 位 以 上 ）	教科及び教科の指導 法に関する科目	アジア政治文化特論	2
		アジア政治文化演習	2
		アジア社会文化特論	2
		アジア社会文化演習	2
		比較アジア社会文化特論	2
		比較アジア社会文化演習	2
		比較アジア政治文化論	2
		比較アジア政治文化演習	2
		日本社会史特論	2
		日本社会史料特論	2
		日本社会史演習	2
		日本社会史料演習	2
		歴史史料論	2
		比較歴史史料学	2
		歴史史料論演習	2
		比較歴史史料学演習	2
		日本政治経済史特論	2
		日本政治経済史料特論	2
		日本政治経済史演習	2
		日本政治経済史料演習	2
		日本文化史特論	2
		日本文化史料特論	2
		日本文化史演習	2
		日本文化史料演習	2
		西洋中世史特論	2
		西洋中世史料特論	2
		西洋中世史演習	2
		西洋中世史料演習	2
		西洋近世史特論	2
		西洋近世史料特論	2
		西洋近世史演習	2
		西洋近世史料演習	2
		西洋美術史理論特論（近代）	2
		西洋美術史理論特論（現代）	2
		西洋美術史特論（近代）	2
		西洋美術史特論（現代）	2
		西洋美術史理論演習（近代）	2
		西洋美術史理論演習（現代）	2
		西洋美術史演習（近代）	2
		西洋美術史演習（現代）	2
		東洋美術史特論（基礎）	2
		東洋美術史特論（応用）	2
		日本美術史特論（基礎）	2
		日本美術史特論（応用）	2
		東洋美術史演習（基礎）	2
		東洋美術史演習（応用）	2
		日本美術史演習（基礎）	2
		日本美術史演習（応用）	2
		歴史文化学基礎論	2
		哲学特論（基礎）	2
哲学特論（応用）	2		
哲学原論（基礎）	2		
哲学原論（応用）	2		
哲学演習（基礎）	2		
哲学演習（応用）	2		
形而上学特論	2		
形而上学演習（基礎）	2		
形而上学演習（応用）	2		
科学哲学特論	2		
科学哲学演習（基礎）	2		
科学哲学演習（応用）	2		
倫理思想史特論（理論）	2		
倫理思想史特論（応用）	2		
倫理学資料演習（理論）	2		
倫理学資料演習（応用）	2		
思想文化学研究法	2		
特別研究	8		

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	地理歴史
--------	-------------	------	------

比較社会文化学専攻

科目区分	本学認定授業科目及び単位		
免許教科	大学が独自に設定する科目		
地 理 歴 史 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の指導 法に関する科目	日本社会史特論	2
		日本社会史料特論	2
		日本社会史演習	2
		日本社会史料演習	2
		歴史史料論	2
		比較歴史史料学	2
		歴史史料論演習	2
		比較歴史史料学演習	2
		日本政治経済史特論	2
		日本政治経済史料特論	2
		日本政治経済史演習	2
		日本政治経済史料演習	2
		日本文化史特論	2
		日本文化史料特論	2
		日本文化史演習	2
		日本文化史料演習	2
		東洋美術史特論(基礎)	2
		東洋美術史特論(応用)	2
		日本美術史特論(基礎)	2
		日本美術史特論(応用)	2
		東洋美術史演習(基礎)	2
		東洋美術史演習(応用)	2
		日本美術史演習(基礎)	2
		日本美術史演習(応用)	2
		アジア政治文化特論	2
		アジア政治文化演習	2
		アジア社会文化特論	2
		アジア社会文化演習	2
		比較アジア社会文化特論	2
		比較アジア社会文化演習	2
		比較アジア政治文化論	2
		比較アジア政治文化演習	2
		西洋中世史特論	2
		西洋中世史料特論	2
		西洋中世史演習	2
		西洋中世史料演習	2
		西洋近世史特論	2
		西洋近世史料特論	2
		西洋近世史演習	2
		西洋近世史料演習	2
		西洋美術史理論特論(近代)	2
		西洋美術史理論特論(現代)	2
		西洋美術史特論(近代)	2
西洋美術史特論(現代)	2		
西洋美術史理論演習(近代)	2		
西洋美術史理論演習(現代)	2		
西洋美術史演習(近代)	2		
西洋美術史演習(現代)	2		
歴史文化学基礎論	2		
特別研究	8		

諸資格の取得

Ⅲ

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	保健体育
--------	-----------------	------	------

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
保健体育 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の指導法に関する科目	舞踊表現学特論	2
		舞踊表現学演習	2
		舞踊芸術学特論	2
		舞踊方法論演習	2
		民族舞踊学特論	2
		民族舞踊方法論演習	2
		現代スポーツ論特論	2
		スポーツマネジメント特論	2
		スポーツマネジメント演習	2
		表現行動科学特論	2
		表現行動科学実験演習	2
		特別研究	8

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	音楽
--------	-----------------	------	----

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
音 楽 （ 計 24 単 位 以 上 ）	教科及び教科の指導法に関する科目	声楽演奏学特論	2
		声楽演奏学演習	2
		声楽表現方法論	2
		声楽表現方法論演習	2
		声楽表現演習	2
		ピアノ演奏学特論（近代）	2
		ピアノ演奏学特論（現代）	2
		音楽表象文化特論	2
		音楽表象文化演習	2
		音楽学特論	2
		音楽学演習	2
		音楽研究方法論	2
		音楽文献資料論	2
		音楽研究方法論演習	2
		音楽文献資料論演習	2
		音楽史研究	2
		音楽史研究演習	2
		音楽文化史研究	2
		音楽文化史研究演習	2
		音楽文化演習	2
特別研究	8		

諸資格の取得

Ⅲ

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	家庭
--------	-----------------	------	----

比較社会文化学専攻

免許教科	科目区分 大学が独自に設定する科目	本学認定授業科目及び単位	
家庭 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の指導 法に関する科目	日本服飾文化論	2
		日本服飾文化論特論	2
		日本服飾文化論演習	2
		西洋服飾文化論	2
		西洋服飾文化論特論	2
		西洋服飾文化論演習	2
		民俗文化論特論	2
		民俗文化論研究	2
		民俗文化論演習	2
		比較文化特論	2
		生活造形特論	2
		生活芸術論演習	2
		生活文化特論演習	2
		特別研究	8

免許状の種類	小学校教諭専修免許状 幼稚園教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
--------	--------------------------	---------------------------

人間発達科学専攻

科目区分	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育思想特論	2	
	公教育研究特論	2	
	教育思想演習	2	
	公教育研究演習	2	
	近代教育史	2	
	現代教育史	2	
	教育史演習（近代）	2	
	教育史演習（現代）	2	
	教育社会学	2	
	教育社会学演習	2	
	学校社会学	2	
	学校社会学演習	2	
	社会心理学特論（理論）	2	
	社会心理学特論（応用）	2	
	社会心理学先端研究（理論）	2	
	社会心理学先端研究（応用）	2	
	教育科学研究方法論	2	
	認知システム論	2	
	認知システム論演習	2	
	認知科学基礎論	2	
	認知科学基礎論演習	2	
	発達心理学特論	2	
	発達心理学演習	2	
	認知発達論特論	2	
	認知発達論演習	2	
	健康心理学特論	2	
	健康心理学演習	2	
	臨床心理科学特論	2	
	臨床心理科学演習	2	
	発達精神病理学基礎論	2	
	発達精神病理学基礎論演習	2	
	人格発達論	2	
	人格発達演習	2	
	発達臨床心理学特論	2	
	比較子ども社会学特論	2	
	比較子ども社会学演習	2	
	比較教育文化特論	2	
	比較教育文化演習	2	
	カリキュラム研究論	2	
	カリキュラム研究論演習	2	
高度教職実践研究（授業編）	2		
高度教職実践研究（教育全般編）	2		
高度教職実践入門	2		
教職リーダーへの道（ロールモデル編）	2		
人間発達科学論	2	※	
特別研究	8	※	

※「特別研究」「人間発達科学論」は指導教員の専門によって区分が異なる。

科目区分	授業科目	単位数	備考		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育臨床学特論	2	幼稚園教諭専修免許状のみ		
	保育臨床学演習	2			
	保育実践論特論	2			
	保育実践論演習	2			
	保育学特論	2			
	保育学演習	2			
	保育人間学特論	2			
	保育人間学演習	2			
	子ども環境論特論	2			
	子ども環境論演習	2			
	保育・児童学研究方法論	2			
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法学（理論）		2	
		教育方法学（応用）		2	
教育開発論特論（理論）		2			
教育開発論特論（実践論）		2			
教育開発論演習（理論）		2			
教育開発論演習（実践論）		2			
臨床心理学特論Ⅰ		2			
臨床心理学特論Ⅱ		2			
カウンセリング特論Ⅰ		2			
カウンセリング特論Ⅱ		2			
心理面接法演習Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）		2			
心理面接法演習Ⅱ		2			
臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）		2			
臨床心理査定演習Ⅱ		2			
臨床心理基礎実習Ⅰ		1			
臨床心理基礎実習Ⅱ		1			
臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）		1			
臨床心理実習Ⅱ		1			
臨床心理学研究法		2			
障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）		2			
認知・行動心理学特論		2			
心の健康教育（心の健康教育に関する理論と実践）		2			
家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）		2			
学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）		2			
人間発達科学論		2 ※			
特別研究		8 ※			

※「特別研究」「人間発達科学論」は指導教員の専門によって区分が異なる。

免許状の種類	中学校教諭専修免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

人間発達科学専攻

免許教科	科目区分 大学が独自に設置する科目	本学認定授業科目及び単位	
社 会 （ 計 24 単 位 以 上 ）	教科及び教科の指導 法に関する科目	社会集団論	2
		社会集団論応用演習	2
		社会意識論	2
		社会意識論特論	2
		社会意識論基礎演習	2
		社会意識論応用演習	2
		社会福祉論	2
		社会福祉論演習	2
		社会政策論	2
		社会政策論演習	2
		社会学基礎論	2
		家族社会学	2
		特別研究	8

諸資格の取得

Ⅲ

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	公民
--------	-------------	------	----

人間発達科学専攻

免許教科	科目区分 大学が独自に設置する科目	本学認定授業科目及び単位	
公民 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の指導 法に関する科目	社会集団論	2
		社会集団論応用演習	2
		社会意識論	2
		社会意識論特論	2
		社会意識論基礎演習	2
		社会意識論応用演習	2
		社会福祉論	2
		社会福祉論演習	2
		社会政策論	2
		社会政策論演習	2
		社会学基礎論	2
		家族社会学	2
		特別研究	8

免許状の種類	中学校教諭専修免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

ジェンダー社会科学専攻

免許教科	科目区分 大学が独自に設置する科目	本学認定授業科目及び単位	
社 会 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の指導 法に関する科目	自然環境論	2
		自然環境論演習	2
		地域経済論	2
		地域経済論演習	2
		地理情報論	2
		地理情報論演習	2
		社会環境学	2
		社会環境学演習	2
		地域調査方法論	2
		地域調査方法論演習	2
		開発研究実践論	2
		開発研究実践論演習	2
		開発地域文化論	2
		開発地域文化論演習	2
		地域社会文化論	2
		地域社会文化論演習	2
		ジェンダー文化論	2
		ジェンダー文化論演習	2
		開発人類学	2
		開発人類学演習	2
		開発経済学	2
		開発経済学演習	2
		ジェンダー立法過程論	2
		フェミニズム理論の争点	2
フェミニズム理論の争点・演習	2		
国際移動ジェンダー論	2		
国際社会ジェンダー論	2		
グローバル政治経済論	2		
グローバル政治経済論演習	2		
特別研究	8		

諸資格の取得

Ⅲ

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	地理歴史
--------	-------------	------	------

ジェンダー社会科学専攻

免許教科	科目区分 大学が独自に設置する科目	本学認定授業科目及び単位	
地 理 歴 史 （ 計 24 単 位 以 上 ）	教科及び教科の指導 法に関する科目	自然環境論	2
		自然環境論演習	2
		地域経済論	2
		地域経済論演習	2
		地理情報論	2
		地理情報論演習	2
		社会環境学	2
		社会環境学演習	2
		開発研究実践論	2
		開発研究実践論演習	2
		地域社会文化論	2
		地域社会文化論演習	2
		地域調査方法論	2
		地域調査方法論演習	2
		開発地域文化論	2
		開発地域文化論演習	2
特別研究	8		

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	公民
--------	-------------	------	----

ジェンダー社会科学専攻

免許教科	科目区分 大学が独自に設置する科目	本学認定授業科目及び単位	
公民 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の指導 法に関する科目	ジェンダー文化論	2
		ジェンダー文化論演習	2
		開発人類学	2
		開発人類学演習	2
		開発経済学	2
		開発経済学演習	2
		ジェンダー立法過程論	2
		フェミニズム理論の争点	2
		フェミニズム理論の争点・演習	2
		国際移動ジェンダー論	2
		国際社会ジェンダー論	2
		グローバル政治経済論	2
		グローバル政治経済論演習	2
特別研究	8		

諸資格の取得

Ⅲ

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	家庭
--------	-----------------	------	----

ジェンダー社会科学専攻

免許教科	科目区分		本学認定授業科目及び単位
	大学が独自に設置する科目		
家庭 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	家族関係論	2
		家族関係学演習	2
		家庭科教育学特論	2
		消費者問題論	2
		消費者問題演習	2
		生活法社会論	2
		生活法社会論演習	2
		生活政治論	2
		生活政治論演習	2
		生活経済論	2
		生活経済論演習	2
		生活情報論	2
		法女性論	2
		法女性論演習	2
		生活福祉論	2
		生活福祉論演習	2
		労働と社会政策	2
		労働と社会政策演習	2
		労働経済論演習	2
		社会保障とジェンダー	2
		ジェンダー統計論演習	2
		生活政策学演習 (応用分析)	2
		生活政策学演習 (方法論基礎)	2
		生活政策学特論	2
特別研究	8		

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	理科
--------	-----------------	------	----

ライフサイエンス専攻

免許教科	科目区分 大学が独自に設置する科目	本学認定授業科目及び単位
理 科 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の指導 法に関する科目	分子生物化学特論 2
		糖質科学 2
		糖質科学演習 2
		分子細胞生物学(植物) 2
		分子細胞生物学(植物)演習 2
		細胞生物学特論 2
		細胞生物学演習 2
		分子細胞生物学(動物) 2
		分子細胞生物学(動物)演習 2
		生体膜代謝論 2
		生体膜代謝論演習 2
		分子進化学 2
		集団遺伝学 2
		集団遺伝学演習 2
		動物生理学特論 2
		分子発生学 2
		分子発生学演習 2
		発生生物学特論 2
		発生生物学演習 2
		進化発生学特論 2
		進化発生学演習 2
		バイオメカニクス特論 2
		細胞生理学 2
		細胞生理学演習 2
		植物相関生理学 2
		植物相関生理学演習 2
		植物系統進化学 2
		植物系統進化学演習 2
		生命情報学特論 2
		生命情報学演習 2
		海洋生物学特論 2
		公開臨海実習 2
		形態発現特論 2
		形態発現演習 2
		現代生命科学(生物機能) 1
		臨床医学特論 2
		生殖発生遺伝学特論 2
		人類遺伝学特論 2
		※ゲノム医科学特論 2
		遺伝医学 2
遺伝学実習 2		
医療概論 2		
生命科学演習 4		
特別研究 10		

※大学院共通科目

諸資格の取得

Ⅲ

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	家庭
--------	-----------------	------	----

ライフサイエンス専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位
免許教科	大学が独自に設置する科目	
家庭 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	衛生工学特論 2
		環境生理学特論 2
		生活材料物性特論 2
		環境工学特論 2
		医用福祉工学 2
		機能材料特論 2
		食品加工貯蔵学特論 2
		食品加工貯蔵学演習 2
		調理科学特論 2
		調理科学演習 2
		食品機能学特論 2
		食品機能・分析化学演習 2
		資源微生物学 2
		資源微生物学演習 2
		栄養化学特論 2
		栄養化学演習 2
		臨床栄養学特論 2
		臨床栄養学演習 2
		公衆栄養学特論 2
		公衆栄養学演習 2
		生体制御学特論 2
		生体制御学演習 2
		栄養教育学特論 2
		栄養教育学演習 2
		生活習慣病医学・疫学 2
		生活習慣病医学・疫学演習 2
		フードサービスマネジメント特論 2
		フードサービスマネジメント演習 2
		健康医学特論 2
		食品栄養科学研究法 2
建築計画学特論 2		
建築設計特論 2		
建築環境学特論 2		
居住環境工学特論 2		
人間・環境科学方法論 2		
人間生活工学演習 2		
環境生活工学演習 2		
特別研究 10		

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	数学
--------	-----------------	------	----

理学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
数 学 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の指導 法に関する科目	離散数学特論	2
		離散数学演習	2
		解析的整数論特論	2
		整数論特論	2
		整数論演習	2
		応用代数学特論	2
		代数構造特論	2
		代数構造演習	2
		代数幾何学特論 I	1
		代数幾何学特論 II	1
		幾何構造特論	2
		微分幾何学特論	2
		微分幾何学演習	2
		多様体構造特論	2
		多様体構造演習	2
		位相構造特論	2
		位相構造演習	2
		大域幾何学特論	2
		代数幾何学演習	2
		代数学特別講義 (基礎)	1
		代数学特別講義 (発展)	1
		応用解析学特論	2
		応用解析学演習	2
		応用数学特論	2
		応用数学演習	2
		非線形数理特論	2
		非線形数理演習	2
		複素力学系特論	2
		複素解析学特論	2
		複素解析学演習	2
		複素多様体特論	2
		数学基礎演習	2
		数理基礎演習	2
		現代数学 (幾何)	1
		数学教材開発法研究 (基礎)	1
		情報解析学特論	2
		情報解析学演習	2
		情報構造特論	2
		情報構造演習	2
		数式処理特論	2
		数式処理演習	2
		数値解析特論	2
		数値解析演習	2
数理情報学特論	2		
数理情報学演習	2		
数理科学特論	2		
数理科学演習	2		
情報科学基礎演習	2		
特別研究	12		

諸資格の取得

III

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	理科
--------	-----------------	------	----

理学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
理 科 （ 計 24 単 位 以 上 ）	大学が独自に設置する科目	統計力学特論	2
		量子物理学特論	2
		量子物理学演習	2
		素粒子特論	2
		場の理論特論	2
		場の理論演習	2
		宇宙物理学特論	2
		天体物理学特論	2
		天体物理学演習	2
		複雑系物理学特論	2
		応用磁性物理学演習	2
		表面物理特論	2
		物性物理学演習	2
		数理物理学特論	2
		非線形物理学特論	2
		非線形物理学演習	2
		ソフトマター物理学特論	2
		ソフトマター物理学演習	2
		磁性体特論	2
		磁性体演習	2
		現象論的素粒子論	2
	高エネルギー物理学特論	2	
	高エネルギー物理学演習	2	
	スピン物性特論	2	
	スピン物性演習	2	
	非線形化学	2	
	非平衡系化学	2	
	非平衡系化学演習	2	
	有機材料化学	2	
	有機反応化学	2	
	有機反応化学演習	2	
	糖鎖分子機能認識学	2	
	生物超分子化学	2	
	生物超分子化学演習	2	
	生体機能分子化学	2	
	生体機能分子化学演習	2	
	生体分子間相互作用特論	2	
	量子反応化学特論	2	
	量子物性化学特論	2	
	量子物性化学演習	2	
	反応物理化学特論	2	
	物性物理化学特論	2	
	反応物理化学演習	2	
有機立体化学	2		
物理有機化学	2		
物理有機化学演習	2		
界面化学特論	2		
界面化学演習	2		
機能性分子化学	2		
超分子化学特論	2		
超分子化学演習	2		
反応化学特論	2		
化学・生物化学演習	2		
特別研究	12		
	教科及び教科の指導法に関する科目		

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	情報
--------	-------------	------	----

理学専攻

免許教科	科目区分 大学が独自に設置する科目	本学認定授業科目及び単位	
情報 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	シミュレーション科学特論	2
		シミュレーション科学演習	2
		数値流体力学特論	2
		数値流体力学演習	2
		バイオインフォマティクス特論	2
		バイオインフォマティクス演習	2
		非従来型計算特論	2
		非従来型計算演習	2
		計算機言語特論	2
		計算機言語演習	2
		言語意味論	2
		言語意味論演習	2
		言語情報処理特論	2
		言語情報処理演習	2
		言語メディア特論	2
		言語メディア演習	2
		科学情報システム特論	2
		科学情報システム演習	2
		コンピュータアーキテクチャ特論	2
		コンピュータアーキテクチャ演習	2
		分散処理特論	2
		分散処理演習	2
		コンピュータネットワーク特論	2
		コンピュータネットワーク演習	2
		ビジュアルコンピューティング特論	2
		ビジュアルコンピューティング演習	2
		メディアコンピューティング特論	2
		メディアコンピューティング演習	2
		ヒューマンインタフェース特論	2
		ヒューマンインタフェース演習	2
		情報科学基礎演習	2
人間機械系特論	2		
人間機械系演習	2		
特別研究	12		

諸資格の取得

Ⅲ

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	家庭
--------	-----------------	------	----

生活工学共同専攻

免許教科	科目区分		本学認定授業科目及び単位
	大学が独自に設定する科目		
家庭 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	繊維構造論	2
		繊維構造論演習	2
		繊維表面分析論	2
		繊維表面分析論演習	2
		衣環境材料学	2
		衣環境材料学演習	2
		衣住機能材料特論	2
		衣住機能材料演習	2
		人体計測学特論	2
		人体計測学演習	2
		環境人間工学特論	2
		環境人間工学演習	2
		住環境管理論	2
		住環境管理論演習	2
		居住空間再生論	2
		居住空間再生論演習	2
		居住空間環境学特論	2
		環境デザイン演習	2
		生活メディア情報論	2 ※
		生活メディア情報論演習	2 ※
データ解析論	2 ※		
データ解析論演習	2 ※		
衣環境情報処理論	2 ※		
衣環境情報処理論演習	2 ※		

※中学校教諭免許では所要単位（24単位）に含まれない。

VI. 特別研究の単位

修士論文作成の指導を行う「特別研究」は全専攻で開講されているが、担当教員（主任指導教員）により、免許の種類・教科が異なるので、ご注意ください。（平成31年4月現在）

〔比較社会文化学専攻〕

〈国語コース〉（中・高）国語

大塚常樹、浅田徹、松岡智之、谷口幸代、竹村明日香、藤川玲満

〈中国語コース〉（中・高）中国語

宮尾正樹、伊藤美重子、和田英信、伊藤さとみ

〈英語コース〉（中・高）英語

松崎毅、清水徹郎、ダイアン・ホーリー・ナガトモ、野口徹、戸谷陽子、中西公子、山腰京子、高桑晴子、
デイビット・アレン

〈社会コース〉（中）社会

三浦謙、中野裕考、宮下聡子、古瀬奈津子、新井由紀夫、天野知香、安成英樹、神田由築

〈公民コース〉（高）公民

三浦謙、中野裕考、宮下聡子

〈地理歴史コース〉（高）地理歴史

古瀬奈津子、新井由紀夫、天野知香、安成英樹、神田由築

〈保健体育コース〉（中・高）保健体育

水村真由美、新名謙二、中村美奈子、福本まあや

〈音楽コース〉（中・高）音楽

永原恵三、小坂圭太、井上登喜子

〈家庭コース〉（中・高）家庭

宮内貴久、鈴木禎宏、難波知子

〔人間発達科学専攻〕

〈社会・公民の教科に関する科目〉

平岡公一、坂本佳鶴恵、杉野勇

〈教職に関する科目〉

米田俊彦、池田全之、石口彰、坂元章、篁倫子、浜野隆、菅原ますみ、青木紀久代、大森美香、
伊藤亜矢子、岩壁茂、富士原紀絵、浜口順子、小玉亮子、刑部育子、上原泉、石丸径一郎、大多和直樹

〔ジェンダー社会科学専攻〕

〈社会コース〉（中）社会

熊谷圭知、水野勲、荒木美奈子、宮澤仁、長谷川直子、倉光ミナ子、棚橋訓、小林誠、申琪榮、大橋史恵

〈地理歴史コース〉（高）地理歴史

熊谷圭知、水野勲、荒木美奈子、宮澤仁、長谷川直子、倉光ミナ子

〈公民コース〉（高）公民

棚橋訓、小林誠、申琪榮、大橋史恵

〈家庭コース〉（中・高）家庭

石井クンツ昌子、永瀬伸子、小谷眞男、大森正博、斎藤悦子、マルセロ・デ・アウカンタラ、西村純子

〔ライフサイエンス専攻〕

〈家庭コース〉（中・高）家庭

村田容常、香西みどり、森光康次郎、藤原葉子、赤松利恵、飯田薫子、須藤紀子、

元岡展久、本田善一郎

〈理科コース〉（中・高）理科

最上善広、千葉和義、小林哲幸、由良敬、宮本泰則、加藤美砂子、服田昌之、作田正明、清本正人、嶋田智、三宅秀彦、近藤るみ、植村知博

〔理学専攻〕

〈理科コース〉（中・高）理科

古川はづき、奥村剛、番雅司、山田眞二、益田祐一、森川雅博、出口哲生、小林功佳、小川温子、鷹野景子、相川京子、森義仁、近藤敏啓、棚谷綾、曹基哲、北島佐知子、矢島知子、河野能知

〈数学コース〉（中・高）数学

吉田裕亮、中居功、横川光司、萩田真理子、戸田正人、大場清、堀江充子、戸次大介、工藤和恵

〈情報コース〉（高）情報

河村哲也、椎尾一郎、浅井健一、小林一郎、小口正人、伊藤貴之

2 博物館学芸員

博物館学芸員の資格を取得するには、博物館法施行規則に基づいて本学が定めた所定の単位を修得する必要があります。

博物館学芸員として就職する際には、本学が発行する学芸員の資格認定に関する科目の単位修得証明書を任命権者（都道府県及び市町村の教育委員会等、博物館の管理機関）に提出する必要があります。

なお、本学における学芸員（博物館）の資格取得のための履修は、学部学生を対象としたものであり、大学院生は履修できません。ただし、大学院博士前期課程の学生に限り、かつ、履修人数に余裕がある場合などに限っては、履修できることがありますので、希望者は学務課まで相談してください。

博物館学芸員の資格を取得するための履修科目

	博物館法施行規則に定める科目		本学における開講科目	
	科目名	単位数		単位数
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2
	博物館概論	2	博物館概論	2
	博物館経営論	2	博物館経営論	2
	博物館資料論	2	博物館資料論	2
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2
	博物館展示論	2	博物館展示論	2
	博物館教育論	2	博物館教育論	2
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2
	博物館実習	3	博物館実習	3
	計	19	計	19
選択科目	文化史	左記系列の中より2系列以上にわたって8単位以上を選択履修すること。	文化人類学特殊講義	2
			民族誌学特殊講義	2
			日本史概説	2
			日本文化史概論	2
			アジア史概説	2
			西洋史概説	2
			日本古典文学史論（上代）	2
			〃（中古）	2
			〃（中世）	2
			〃（近世）	2
			日本近代文学史論（近代）	2
			〃（現代）	2
			比較生活文化史Ⅰ(1),(2)	各1
	〃Ⅱ(1),(2)		各1	
	美術史		美術史学特殊講義Ⅰ～Ⅲ	} 各4
			美術史学演習Ⅰ～Ⅲ	
			形象分析学特殊講義Ⅰ～Ⅲ	
形象分析学演習Ⅰ～Ⅲ				
考古学	西洋美術史AⅠ～AⅢ、BⅠ～BⅢ	} 各2		
	東洋美術史AⅠ～AⅢ、BⅠ～BⅢ			
	工芸史	2		
	生活造形史	2		
	考古学通論Ⅰ	2		
考古学通論Ⅱ	2			

	博物館法施行規則に定める科目		本学における開講科目	
	科目名	単位数		単位数
選択科目	民俗学	左記系列の中より2系列以上にわたって8単位以上を選択履修すること。	民俗学	2
			服飾史論 (1), (2)	各1
			服飾史資料論 (1), (2)	各1
			服飾史 I (1), (2)	各1
			服飾史 II (1), (2)	各1
			民俗文化史論 (1), (2)	各1
			民俗文化史各論	2
			歴史民俗文化論 (1), (2)	各1
	物理学		物理学概論 A	2
			物理学概論 B	2
			古典力学 (1), (2)	各1
			電磁気学 I (1), (2)	各1
	化学		基礎化学 A	2
			基礎化学 B (1), (2)	各1
			無機化学 I	2
			有機化学 I	2
	生物学		基礎生物学 A	2
			基礎生物学 B	2
			動物系統学	2
			植物系統学	2
地学	宇宙・地球科学	2		
	大気・海洋科学概論	2		
	地史・古生物学概論	2		
	地球環境科学	2		

3 日本語教員

日本語を母語としてではなく、第二言語として学ぶ人、例えば外国籍の人などに日本語を教える教員が、日本語教員です。社会のグローバル化の進展にともない、国内外で日本語を教える日本語教員のニーズは高まっており、日本の言語、文化を教えることはもちろん、グローバル化した社会に生きる市民性を育む役割にも期待が寄せられています。

本学ではそうした社会的要請に応えるため、日本語教員の養成課程を設置しております。

この課程に従って必要な単位を修得すると、卒業後に、国内の日本語学校等の日本語教育機関にて日本語教員として働くための資格を得ることができます。本課程修了者には、学生からの申請に基づき、課程を修了したことの証明書を発行します。

本課程の主な履修者は、比較社会文化学専攻日本語教育コースの学生を想定していますが、当該コース以外の学生でも、必要な単位を修得すれば、日本語教員となるための要件を満たすことができます。

なお、本課程は、日本語教育機関の告示基準（法務省入国管理局平成28年7月22日策定）第1条第1項第13号口で求められた日本語教育に関する科目26単位以上を修得する教育課程です。

日本語教員の要件を満たすための履修科目

文化庁「日本語教育のための教員養成について」に示された科目区分	本学における開講科目	単位数
社会・文化・地域	言語教育学特論	2
	言語教育学演習	2
	異文化間教育演習	2
	日本語教育学研究特論	2

言語と社会	日本語教育学特論	2
	言語教育リタラシー特論	2
	社会言語学研究特論	2
	社会言語学研究演習	2
	異文化間教育特論	2
言語と心理	多文化間心理教育学特論	2
	多文化間心理教育学演習	2
	多文化間カウンセリング特論	2
	多文化間カウンセリング演習	2
	応用日本言語学特論(1),(2)	各1
	応用日本言語学演習(1),(2)	各1
	日本語習得論特論	2
	日本語習得論演習	2
	応用日本言語学研究法実習	2
	言語教育統計学	2
	言語教育統計学演習	2
	質的研究法演習	2
言語と教育	言語習得・教育特論(1),(2)	各1
	言語習得・教育演習(1),(2)	各1
	言語学習論特論	2
	言語学習論演習	2
	言語教育リタラシー演習	2
	日本語教育学研究演習	2
言語	言語分析学特論	2
	言語分析学演習	2
	日本語コミュニケーション特論	2
	日本語コミュニケーション演習	2
	日本語音声科学特論	2
教育実習	日本語教育実習	2
	日本語教育方法論演習	2

※ 上記全ての科目区分から、最低1科目以上、合計26単位以上を修得すること。

4 専門社会調査士

専門社会調査士とは、一般社団法人社会調査協会が認定・発行する資格であり、高度な調査能力を身につけたプロの社会調査士であることを証明するものです。本大学院では、博士前期課程の人間発達科学専攻、ジェンダー社会科学専攻が共同で対応カリキュラムを組織しています。

専門社会調査士の資格を取得するには、学部レベルでの資格である社会調査士資格を保有し、社会調査協会が定める標準カリキュラムH、I、Jに対応するものとして認定された所定の科目を修得し、社会調査結果を用いた修士論文（研究論文）を執筆して博士前期課程を修了する必要があります。社会調査士資格と専門社会調査士資格は同時に取得することもできます。

資格の取得を希望する学生は、早い段階から計画的に履修する必要があります。具体的な標準カリキュラム対応科目は年度ごとに異なり、また隔年開講である科目が多いので十分に注意してください。詳細は毎年度初頭に社会調査士連絡責任者にお問い合わせください。

なお、学部レベルの社会調査士資格を同時に取得する場合には、学部の科目等履修生となって学部開講の認定科目を5科目10単位修得する必要があります。科目等履修生の出願時期が限られているので早くからよく調べて計画してください。また本大学院では、資格取得の目的で学部の科目等履修生となる場合には入学金と授業料の免除措置がありますので是非ご活用ください。

専門社会調査士資格取得のための標準カリキュラムと本学での必要単位数

標準カリキュラム	本学での必要単位数
H 調査企画・設計に関する演習（実習）科目	2単位
I 多変量解析に関する演習（実習）科目	2単位
J 質的調査法に関する演習（実習）科目	2単位

5 臨床心理士

臨床心理士資格は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の資格試験合格によって得られます。発達臨床心理学コースは、2001年度より、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の定める第1種指定大学院となっています。当コース所属の学生は、表に示す必修科目（本学における開講科目10科目）の16単位すべておよび、選択必修科目群（ABCDE群）からそれぞれ2単位以上で計10単位以上、合わせて26単位以上を履修して前期課程を修了することで、臨床心理士資格試験の受験資格が得られます。

なお、他コースの学生が履修できるのは、ABCD群の科目のみとなります。

科目区分	資格認定協会科目	本学における開講科目	単位数
必修	臨床心理学特論	臨床心理学特論Ⅰ	2
必修	臨床心理学特論	臨床心理学特論Ⅱ	2
必修	臨床心理面接特論	カウンセリング特論Ⅰ	2
必修	臨床心理面接特論	カウンセリング特論Ⅱ	2
必修	臨床心理査定演習	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
必修	臨床心理査定演習	臨床心理査定演習Ⅱ	2
必修	臨床心理基礎実習	臨床心理基礎実習Ⅰ	1
必修	臨床心理基礎実習	臨床心理基礎実習Ⅱ	1
必修	臨床心理実習	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	1
必修	臨床心理実習	臨床心理実習Ⅱ	1
選択必修A群	心理学研究法特論	人間発達科学論	2
選択必修A群	臨床心理学研究法特論	臨床心理学研究法	2
選択必修B群	認知心理学特論	認知・行動心理学特論	2
選択必修B群	発達心理学特論	発達臨床心理学特論	2
選択必修C群	家族心理学特論	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2
選択必修C群	犯罪心理学特論	司法・犯罪臨床心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2
選択必修D群	障害者（児）心理学特論	障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
選択必修D群	心身医学特論	医療心理学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2
選択必修E群	投射法特論	心理検査法特論	2
選択必修E群	心理療法特論	心理療法特論	2
選択必修E群	心理療法特論	心理面接法演習Ⅱ	2

6 公認心理師

公認心理師資格は、公認心理師国家試験合格によって得られます。発達臨床心理学コースは、2018年度より、公認心理師受験資格に対応するプログラムを設置しています。当コース所属の学生は、表に示す科目のすべてを履修して前期課程を修了することで、公認心理師試験の受験資格が得られます。

科目区分	公認心理師法施行規則第2条に定められた科目	本学における開講科目	単位数
1	保健医療分野に関する理論と支援の展開	医療心理学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2
2	福祉分野に関する理論と支援の展開	障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
3	教育分野に関する理論と支援の展開	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2
4	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法・犯罪臨床心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2
5	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業・労働臨床心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2
6	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
7	心理支援に関する理論と実践	心理面接法演習Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2
8	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2
9	心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育（心の健康教育に関する理論と実践）	2
10	心理実践実習	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	1
		臨床心理特別実習Ⅰ（心理実践実習）	4
		臨床心理特別実習Ⅱ（心理実践実習）	4
		臨床心理特別実習Ⅲ（心理実践実習）	4

7 資格取得を目的とした科目履修

教育職員免許状、博物館学芸員、社会調査士、建築士の資格取得を目的として、大学院博士前期課程、博士後期課程の学生が学部の科目、もしくは博士後期課程の学生が博士前期課程の科目を履修することができます。この場合、科目等履修生となるための入学金と授業料は免除されます。

ただし、一年度内に履修できる科目は、20単位までとし、授業科目によっては収容人員・形態等の都合で履修を認めないことがあります。詳しくは学部生用の履修ガイド及び科目等履修生出願要項を参照してください。

《キャリアデザインプログラム科目群》

いま、学生の<就業力>育成が課題になっています。就業力とは、学生が自分に合った仕事を見つけ出し、社会に出て活躍できるような力を指します。社会を変えていく女性リーダー育成を大きな目標とする本学にとって、就業力とは単に実学的なものにとどまりません。広く公共的視野のもとに課題を発見し、蓄えた知識やスキルを自在に繰り、異質な人々との協同・共生の中で課題解決のための選択肢を見きわめて行動する「女性リーダー力」です。この力を学生に保証するために、平成23年度から新たにキャリアデザイン科目群が設置されました。キャリアデザインプログラムでは、高度な就業力としての「女性リーダー力」をコンピテンシー（知識や技能を組み合わせることで成果を生む包括的能力）の概念枠組みでとらえています。現代社会の諸課題を解決する新たなリーダー育成を目標に、全学をあげてコンピテンシーの開発に取り組みます。

これらの科目群は学部の教育課程に設置されますが、大学院生が学部の科目等履修生として単位を取得することも可能です。この場合、科目等履修生となるための入学金と授業料は、免除されます。